

市川團十郎 中かりの地めぐり

江戸で人気を博した歌舞伎役者・初代市川團十郎は子宝に恵まれず、成田山新勝寺で祈願したところ待望の子を授かりました。この報恩として成田不動尊にまつわる演目を上演すると、芝居は大当たり。團十郎の活躍によって、成田不動は民衆に知れ渡るようになりました。

以来、市川宗家一門は節目ごとに成田山新勝寺に参詣するなど、深い絆で結ばれています。このような縁から成田市では、十三代目市川團十郎さんを成田市御案内人に任命しています。

市川宗家とゆかりの深い成田山新勝寺の境内と成田山参道には、歴代團十郎のゆかりの品々が残されています。成田屋と呼ばれている歌舞伎役者市川團十郎ゆかりの地をめぐる、ちよい旅のスタートです。



③ 平和大塔 1階 靈光殿

初代と七代目團十郎が成田山不動明王から授かった靈験を表した「靈験図」が展示されています。

③ 平和大塔収蔵 大円鏡

元禄16年(1703)に成田山がはじめて江戸で出開帳を行った際に、初代と二代目團十郎親子により奉納された円鏡。



② 額堂

かつて七代目團十郎が建立した額堂がありましたが、火災により焼失。現在の額堂には七代目の石造が奉安されています。



① 出世開運稲荷

出世開運稲荷の石段を上ると、八代目團十郎と七代目海老蔵父子が奉納した常夜灯があります。燈籠には「祈子孫蕃育」と刻まれています。



⑤ 仁王門

仁王門右手に明治27年(1894)に建立された灯明台があり、壁面には九代目團十郎をはじめとする歌舞伎役者の名前が刻まれています。



④ 堂庭

八代目團十郎と七代目海老蔵が天保6年(1835)8月に奉納した石燈籠があります。



⑥ 成田山薬師堂

⑥ 成田山薬師堂

初代團十郎が子授祈願をした3代前の本堂です。現在は表参道の上町へ移設しています。

